

令和7年度

東北農政局郡山市庁舎解体撤去工事

特 別 仕 様 書

東 北 農 政 局

第1章 総 則

東北農政局郡山市庁舎解体撤去工事の施工に当っては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書」（以下「解体共通仕様書」という。）、「公共建築工事標準仕様書」（以下「建築標準仕様書」という。）及び農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「土木共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

共通仕様書によるほか特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、東北農政局郡山市庁舎の解体撤去を行うものである。

2. 工事場所

福島県郡山市神明町4-22

3. 工事概要

本工事の概要は、次のとおりである。

- 1) 庁舎解体撤去 1 棟
(鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積356.44㎡ 電気設備・機械設備含む。)
- 2) 増設棟解体撤去 1 棟
(軽量鉄骨造 2 階建 延床面積161.82㎡ 電気設備・機械設備含む。)
- 3) 調整室解体撤去 1 棟
(鉄骨造平屋建 延床面積27.84㎡)
- 4) 車庫解体撤去 1 棟
(鉄骨造平屋建 延床面積60.00㎡)
- 5) 自転車置場解体撤去 1 棟
(軽量鉄骨造平屋建 延床面積9.00㎡)
- 6) 外構解体撤去 1 式
(囲障、場内舗装、屋外排水設備、電気・機械設備（屋外）、雑工作物等)
- 7) 整地 1 式
(立入防護柵及び有価材置場設置)
- 8) 産業廃棄物処理 1 式

4. 工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第3章 施工条件

1. 庁舎解体の施工機械

庁舎解体は、コンクリート圧砕機による施工を考えている。

2. 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

- (1) 工事を施工しない日 原則、土曜日、日曜日、祝日、年末・年始（12月29日～1月3日）ただし、発注者と受注者の間で協議

の上、別に定める場合はこの限りで無い。

- (2) 工事を施工しない時間帯 平日の午後5時から午前8時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。

3. 運搬の施工機械

運搬は、4トン車による施工を考えている。

第4章 現場条件

1. 工事用電力及び用水

本工事に使用する電力設備及び用水は、受注者の責任において準備しなければならない。

2. 第三者に対する措置

- (1) 本工事の施工に当たっては、第三者に対する災害防止と粉塵飛散防止のための対策を施すものとする。
- (2) 本工事場所は都市計画法（昭和43年法律第100号）第9条第5項に規定する第2種地域で、振動規制法（昭和51年法律第64号）第3条第1項に規定する第1種区域の住居地域かつ騒音規制法（昭和43年法律第98号）第3条第1項に規定する第2種区域の住居区域であり、騒音、振動等の対策については、十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(3) 保安対策

- 1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習、または、基本教育及び業務特別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。
- 2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更、道路管理者及び所轄警察署の打合せ結果、又は現地交通状況等により、新たに交通誘導警備員が必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

| 配置場所 | 交通誘導警備員 | 編成 | 昼夜別 | 交代要員の有無 |
|---------------------------------|---------|----|-----|---------|
| 地方道 市道虎丸町 神明町3号線 庁舎敷地出入口部 | 1名／日 | 1名 | 昼間 | 無 |

- (4) 公共道路の使用に当たっては、地域住民及び一般車両の通行を優先し、通行に支障を及ぼさないよう受注者において事故防止に努めなければならない。
- また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。
- なお、受注者の責により当該道路に損傷を与えた場合は、速やかに関係者と協議の上、受注者の責任により復旧するものとする。

(5) 工事用車両による公共道路の路面汚濁の防止及び、路面清掃等の維持管理を行うものとする。

(6) 工事用車両の運行に当たっては、通学時間帯に配慮して行うものとする。

3. 関係機関との調整

本工事において、関係機関との調整が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 土壌調査

自転車置き場（旧焼却炉跡地）の解体撤去後に土壌調査（ダイオキシン類）を行うものとする。調査位置については別途、監督職員が指示する。

第5章 指定仮設

1. 騒音・振動対策

鋼製枠組足場に防音シート張りを設置するものとする。また、低騒音・低振動に努めるとともに、機械の使用にも配慮して施工しなければならない。

2. 粉じん対策

上記1のシート張りのほかに解体時の粉じん対策用の散水養生は、庁舎敷地内の上水道給水管に仮設水栓を設けて行うものとする。

3. 敷鉄板

庁舎敷地出入り口に道路側溝の保護及び振動防止のため、敷鉄板（ $t=22\text{mm}$ ）の敷設を考えているが、それ以外に必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

重機の搬入については、県道142号線にて運搬車両より重機をおろし路面保護のため合成樹脂製仮設マットを敷設・転用し、重機を現場へ搬入させると考えているが、それ以外に必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

4. 安全対策（架空線等公衆物損事故防止）

共通仕様書第1編3-2-2一般事項1. 施工計画（2）において調査把握した工事区域内に存在する架空線等上空施設の下を横断する箇所には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート等）を設置するとともに、重機等の横断に際しては適切に誘導員を配置し、誘導指示を行わなければならない。

なお、安全対策施設の設置等については、施工前に監督職員と協議するものとする。

第6章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第7章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。なお、これによ

りがたい場合は、同等品相当の材料を使用するものとし、監督職員の承諾を得るものとする。

また、J I S規格品は、改正工業標準化法（平成16年6月9日交付）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（J I Sマーク表示認証工場）での製造品とする。

(1) 石材及び骨材

再生クラッシャーラン RC-40

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

| 材 料 名 | 提 出 物 |
|------------|------------------|
| 再生クラッシャーラン | 試験成績書（第7章1（1）参照） |
| 防音シート | カタログ・試験成績書 |
| 山砂 | 粒度分析表 |

3. 資材の調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費用等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

| 資 材 名 | 規 格 | 調達地域等 |
|----------|-----------|-------|
| 再生碎石 | R C - 4 0 | 郡山市 |
| 購入土（山砂） | | 郡山市 |
| 仮設材（敷鉄板） | | 郡山市 |

4. 工事に使用する土砂（購入土）について

受注者は、工事で使用する土砂を現場に搬入する前に、土砂が採取された箇所の土砂採取に係る関連法案の許可書の写しを監督職員に提出しなければならない。（採石法第33条による採取計画認可書、砂利採取法第16条による採取計画許可書、森林法第10条の2による林地開発許可書）

第8章 施 工

1. 一般事項

工事の着手に先立ち、実施工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表等を作成し監督職員に提出するものとする。

2. アスベスト含有製品の撤去

(1) アスベスト含有製品撤去

庁舎1階機械室の露出配管エルボ部の除去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル2で同規則に基づいて作業計画書作成及び官公庁届出並びに報告書等適切に行うものとする。

(2) アスベスト含有成形板撤去

庁舎 1 階書庫・倉庫・便所の巾木、1 階機械室の天井材、2 階事務室・書庫・女子更衣室・ホール階段の巾木、増設棟外壁タイル・軒天材のアスベスト含有成形板の撤去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル 3 で湿潤化したのち手ばらしでおこなうものとする。

(3) 撤去及び撤去後の細分と保護は、作業員が素手で触らないよう化学防護ゴム手袋、万一の飛散と吸引防止のため防塵めがね、防塵マスク、フィルターを着用して行うものとする

3. 電気設備の解体撤去

(1) 電気設備の解体撤去に当たり、分電盤・ボックス類・照明器具（蛍光灯等含む）・スイッチ・コンセント・プレート等、及び目視可能な表面に設置されているものは、躯体の解体前に撤去し、不必要な破壊や混在を防止して分別集積するものとする。

(2) 庁舎の躯体コンクリート等に埋設されている電線管及びケーブル等は、一体的に解体撤去を行い、分別集積するものとする。

(3) 天井及び分電盤等器具類の解体後、ケーブル及び電線は引き出して撤去を行い、束ねて分別集積するものとする。

4. 機械設備の解体撤去

(1) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管は、油や雨水の所在を確認し、抜き取りが必要な場合は廃棄物処理方法と処理施設先について監督職員と協議するものとする。油の抜き取り作業後、設備毎の廃棄物処理を行うものとする。

(2) 地下浄化槽は、汚物や雨水の所在を確認し、抜き取りが必要な場合は廃棄物処理方法と処理施設先について監督職員と協議するものとする。

5. 建設資材廃棄物等の搬出

| 建設資材 廃棄物 | 処 理 施設名 | 住 所 | 受け入れ 時 間 | 事業区分 |
|-----------------------|-----------------|--------------------|-------------------|------|
| コンクリート殻、 くず（無筋、鉄筋） | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字町 東188 | 午前 8 時～ 午後 5 時 | 再資源化 |
| アスファルト殻、 くず | 県中エコタウン共 同組合 | 郡山市字大河原65-1 | 午前 8 時～ 午後 5 時 | 再資源化 |
| 木くず | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字町 東188 | 午前 8 時～ 午後 5 時 | 再資源化 |
| 樹木（枝葉） | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字町 東188 | 午前 8 時～ 午後 5 時 | 再資源化 |

| 建設資材 廃棄物 | 処 理 施設名 | 住 所 | 受け入れ 時 間 | 事業区分 |
|----------------------------|-------------|-------------------|---------------|-------------|
| 樹木（抜根） | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字町東188 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| 畳 | 郡山リサイクル共同組合 | 郡山市日和田町高倉字藤垣1-50 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| 廃プラスチック | (株)二瓶商店 | 郡山市熱海町高玉字七瀬山3 | 午前8時～ 午後5時 | 最終処分 |
| 金属くず | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字栗生27-15 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| 陶磁器くず、 タイル | 県中エコタウン共同組合 | 郡山市字大河原65-1 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| ガラスくず | (有)根本産業 | 郡山市日和田町梅沢字瀬戸田50 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| 石膏ボード | (株)柳田産業 | 郡山市逢瀬町河内字栗生27-15 | 午前8時～ 午後5時 | 再資源化 |
| 石綿含有建材、製品 （非飛散性成形板）レベル3 | 都築鋼産(株) | いわき市内郷宮町竹ノ内86-130 | 午前8時～ 午後5時 | 最終処分 埋立て |
| 蛍光管 | 県中エコタウン共同組合 | 郡山市字大河原65-1 | 午前8時～ 午後5時 | 最終処分 |

6. 発生材

- (1) 本工事の施工に伴い発生する建設副産物のうち、有価物スクラップの金属類は種類毎（鉄筋、鉄くず、アルミ、ステンレス、銅管、銅線）に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。
- (2) 有価材は、庁舎解体後に計量が可能な計量所で計量した後、庁舎敷地内の指定された場所に集積するものとし、仮囲いを施して飛散しないように保管するものとする。
- (3) PCB含有物（蛍光灯安定器、盤内コンデンサ他）が存在した場合は、種類毎に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。処理方法または、保管場所は監督職員が指示するものとする。
- (4) アスベスト廃材は、密封処理（二重梱包）とする。
- (5) 空調設備の冷媒フロン回収は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づき、各基準により適正に算定、充填・回収、破

壊処理、証明書交付、記録・報告等を行うものとする。

7. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程毎の作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

| 工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法 | 工 程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|-----------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| | ①建築設備・内装材等 | 建築設備・内装材等の 取り壊し ■有 □無 | □手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由() |
| | ②屋根構造 | 屋根構造の取り壊し ■有 □無 | □手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由() |
| | ③外装材・上部構造 | 外装材・上部構造の 取り壊し ■有 □無 | □手作業 ■手作業・機械作業の併用 |
| | ④基礎構造 | 基礎の取り壊し ■有 □無 | □手作業 ■手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤その他 (構内舗装等) | その他の取り壊し ■有 □無 | □手作業 ■手作業・機械作業の併用 |

第9章 施工管理

1. 主任技術者の資格

主任 技術者の資格は、1級若しくは2級建築施工管理技士（建築）又は同等以上の資格を有するものとする。

なお、同等以上の資格を有する者とは、次の者とする。

- ・ 1級建築士又は2級建築士の資格を有する者

2. 施工管理

施工管理は、解体共通仕様書及び建築標準仕様書並びに土木共通仕様書によるものとする。

第10章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 地下埋設物の出現により撤去を変更追加する場合

- 2) 庁舎及び有価材一時置き場の仮設に変更が生じた場合
- 3) 交通誘導警備員の配置及び員数に変更が生じた場合
- 4) 仮設水道使用量（粉じん対策用散水）に変更が生じた場合
- 5) 雨水排水設備の撤去範囲に変更が生じた場合
- 6) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管内の廃油処理等に変更が生じた場合
- 7) 地下浄化槽内の汚物処理等を変更追加する場合
- 8) アスベスト含有建材の定性分析を変更追加する場合
- 9) 立入防護柵の延長を変更追加する場合
- 10) 建設資材廃棄物の搬出場所及び数量等に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 11) 有価材の数量に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 12) 熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
- 13) 現場環境（快適トイレ）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 14) 女性も働きやすい現場環境（トイレ・更衣室）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 15) 除雪の必要が生じた場合。
- 16) 設計変更に必要な調査、測量、設計、図面作成、数量算出を監督職員が指示した場合
- 17) 第三者との協議により変更が生じた場合
- 18) その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第11章 その他

1. 電子納品

工事完成図書は、建築標準仕様書 1 章 7 節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・ 工事完成時の提出図書の電子媒体（CD-R 若しくはDVD-R） 正副 2 部
- ・ 工事完成時の提出図書 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 週休 2 日による施工

- (1) 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休 2 日に取り組む旨を協議したうえで工事を実施する週休 2 日促進工事（受注者希望方式）である。

週休 2 日の取組の希望の有無を工事着手前に監督職員に工事打合書等で報告するものとする。週休 2 日の取組を希望しない受注者は（3）及び（4）に規定する義務を負わない。

- (2) 週休 2 日の考え方は以下のとおりである。

- ① 「週休 2 日」とは、対象期間において、工期中の全ての週における週休 2 日以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ② 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- ③ 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を

含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。

- ④現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (3) 受注者は、工事着手前に、週休2日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」を記載した「実施工程表」等を作成し、監督職員の確認を得た上で、週休2日に取り組むものとする。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「実施工程表」等を提出するものとする。監督職員が現場閉所の状況を確認するために「実施工程表」等に「現場閉所日」を記載し、必要な都度、監督職員に提出するものとする。また、施設管理者の承諾を前提に週休2日促進工事である旨を仮囲い等に明示する。
- (4) 監督職員は、受注者が作成する「現場閉所日」が記載された「実施工程表」等により、対象期間内の現場閉所日数を確認する。
- (5) 予定価格のもととなる当初積算においては、工期中の全ての週における週休2日以上を前提に、下表に示す補正係数を労務に乗じている。

| 補正対象 | 全ての週で2日以上 | 全ての月で4週8休以上 | 全体で4週8休以上 |
|------|--------------|--------------|--------------|
| 労務費 | 補正係数 1.02 | 補正係数 1.02 | 補正係数 1.00 |

- (6) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、上記に示す現場閉所率に応じた補正係数を用いて労務費を補正し、請負代金を減額変更する。

3. 熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

- 1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- 2) ドライミスト
- 3) 暑さ指数（WBGT値）の計測装置

4. 現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

- 1) 洋式便座
- 2) 簡易水洗
- 3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
- 4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
- 5) 照明設備（電源がなくても良いもの）
- 6) 付属設備（衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能）

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

| 東北農政局郡山市庁舎解体撤去工事 | | | | |
|--------------------|---|-----|-------|-----|
| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
| (1) 庁舎解体撤去費 | | | | |
| 1) 直接仮設費 | | | | |
| イ. 外部足場 | | | | |
| 桝組本足場（手すり先行方式）900桝 | 2 箇月 12m未満 | 掛㎡ | 319.0 | |
| 桝組本足場運搬 | 4 t 車 | ㎡ | 319.0 | |
| 安全手すり | 2 箇月 | 掛m | 36.3 | |
| 安全手すり運搬 | 4 t 車 | m | 36.3 | |
| 防音シート | 2 箇月 | 掛㎡ | 319.0 | |
| 防音シート運搬 | 4 t 車 | ㎡ | 319.0 | |
| ロ. 内部足場 | | | | |
| 脚立足場 | 1箇月 H1.8m | 床㎡ | 356.0 | |
| 脚立足場運搬 | 脚立足場運搬 | ㎡ | 356.0 | |
| 2) 庁舎解体費 | | | | |
| イ. コンクリート解体 | | | | |
| 上部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 鉄筋切断・積込共 | 延㎡ | 356.0 | |
| | コンクリート量129.7m ³ | | | |
| 基礎部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 | 建㎡ | 178.0 | |
| | コンクリート量85.5m ³ (土間含む) | | | |
| 機械運搬費 | 11t車 バックホウ0.8m ³ 解体用 (他棟共用) | 往復 | 2.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-------------------------------------|---|-----------------|-------|-----|
| 機械運搬費 | 11t車 バックホウ0.5m ³ 小割・積込用（他棟共用） | 往復 | 2.0 | |
| ロ.土工 | | | | |
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 112.0 | |
| | | | | |
| ハ.仕上材撤去 | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | アスベストレベル3撤去共 煙突撤去共 | 延m ² | 356.0 | |
| | 移動書架・スチール棚撤去共 | | | |
| 二.建具等撤去 | | | | |
| AW1～10（枠共）2連引違窓 、アルミパネ、ガリ、Fix付撤去 | 6080×1750mm 10箇所 人力 | m ² | 106.4 | |
| AW11（枠共）2連引違窓 、アルミパネ、Fix付撤去 | 3440×1750mm 1箇所 人力 | m ² | 6.0 | |
| AW12（枠共）引違窓、Fix付撤去 | 2590×1750mm 1箇所 人力 | m ² | 4.5 | |
| AW1増（枠共）引違窓撤去 | 1600×1300mm 11箇所 人力 | m ² | 22.9 | |
| AW2増（枠共）引違窓撤去 | 1600×600mm 6箇所 人力 | m ² | 5.8 | |
| AD1（枠共）両開、フレームドア 、ランマ、ガリ、袖付撤去 | 2740×2590mm 1箇所 人力 | m ² | 7.1 | |
| AD2（枠共）両開、フレームドア 、Fix、ランマ、ガリ付撤去 | 1720×2600mm 1箇所 人力 | m ² | 4.5 | |
| | 1770×1750mm 1箇所 人力 | m ² | 3.1 | |
| | 1840×2600mm 1箇所 人力 | m ² | 4.8 | |
| | 820×1750mm 1箇所 人力 | m ² | 1.4 | |
| AD3（枠共）片開、ランマ、袖付撤去 | 1430×2600mm 1箇所 人力 | m ² | 3.7 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|------------------------------------|--------------------|----------------|-------|-----|
| AD 4 (枠共) 片開 、Fix、ランマ、ガリ付撤去 | 820×2600mm 1箇所 人力 | m ² | 2.1 | |
| | 870×1750mm 1箇所 人力 | m ² | 1.5 | |
| AD 1 増 (枠共) 片開フラッシュ戸撤去 | 750×2000mm 3箇所 人力 | m ² | 4.5 | |
| LD 1 増 (枠共) 片開フラッシュ戸撤去 | 800×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 1.5 | |
| AD 2 増 (枠共) 片開フラッシュ戸撤去 | 800×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 1.5 | |
| WD 1 (枠共) 両開、ガリ付撤去 | 1600×1900mm 2箇所 人力 | m ² | 6.1 | |
| WD 2 (枠共) 片開、ガラス付撤去 | 820×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 1.6 | |
| WD 3 (枠共) 片開、ガリ 、ガラス付撤去 | 830×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 1.6 | |
| WD 4 (枠共) 片開、ガラス付撤去 | 980×2000mm 1箇所 人力 | m ² | 2.0 | |
| WD 5 (枠共) 片開、Fix、ランマ 、ガラス付撤去 | 800×2450mm 1箇所 人力 | m ² | 2.0 | |
| WD 5 - 1 (枠共) 片開、ガリ付撤去 | 800×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 1.5 | |
| WD 6 (枠共) 両開、ガリ付撤去 | 1600×1900mm 1箇所 人力 | m ² | 3.0 | |
| WD 7 (枠共) 片開、Fix、ランマ 、ガリ付撤去 | 2700×2250mm 1箇所 人力 | m ² | 6.1 | |
| WD 8 (枠共) 片開、ランマ、外倒し窓 、ガラス付撤去 | 800×2550mm 1箇所 人力 | m ² | 2.0 | |
| SP 1 (枠共) 片開、フラッシュ戸 、パーテーション付撤去 | 4150×2400mm 1箇所 人力 | m ² | 10.0 | |
| SD 1 (枠共) 片開、フラッシュ戸撤去 | 800×1900mm 2箇所 人力 | m ² | 3.0 | |
| AS 1 (枠共) スクリーン撤去 | 800×2300mm 1箇所 人力 | m ² | 1.8 | |
| LS 1、軽量シャッター撤去 (レール共) | 4650×2300mm 1箇所 人力 | m ² | 10.7 | |
| ブラインド撤去 | アルミ | m ² | 97.4 | |
| ホ. ガラス等撤去 | | | | |
| ガラス等撤去 | 厚6.3 | m ² | 141.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|------------------------------|-----------------------|-----|------|-----|
| ヘ. 流し台等撤去 | | | | |
| 流し台撤去 | 1 槽シンク、B=1501mm以上 | 台 | 1.0 | |
| ガス台撤去 | B=900mm以下 | 台 | 1.0 | |
| 吊り棚撤去 | 片面、B=1500mm以下 | 台 | 1.0 | |
| ト. 畳撤去 | | | | |
| 畳撤去 | | 畳 | 10.0 | |
| 機械室配管エルボ撤去 (アスベスト含有：レベル2) | | か所 | 3.0 | |
| 3) 電気設備解体費 | | | | |
| イ. 電灯幹線設備 | | | | |
| 電灯分電盤 撤去 | L-1 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| 電灯分電盤 撤去 | L-3 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| ロ. 電灯分岐設備 | | | | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL20W-1 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL20W-2 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL40W-1 再使用しない | 台 | 4.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL40W-2 再使用しない | 台 | 18.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 Hf32W-1 再使用しない | 台 | 8.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 Hf32W-2 再使用しない | 台 | 10.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 埋込形 FL20W-5 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 埋込形 FCL30W+40W 再使用しない | 台 | 6.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 半埋込形 FL40W-1 再使用しない | 台 | 6.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|----------------------------------|-----|------|-----|
| 蛍光灯器具 撤去 | 埋込灯(ダウンライト) 再使用しない | 台 | 4.0 | |
| 白熱灯器具 撤去 | シーリングライト 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 白熱灯器具 撤去 | ブラケット センサーライト(スポットライト) 再使用しない | 台 | 2.0 | |
| LED灯器具 撤去 | 露出形(FL40W-2相当) 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×1 再使用しない | 個 | 5.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×2 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×3 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×6 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 3W15A×1 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| プルボックス 撤去 | 鋼板製 150×150×150H再使用しない | 個 | 1.0 | |
| レースウェイ 撤去 | 30×40 再使用しない | m | 12.8 | |
| 人感センサー 撤去 | 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 人感センサー切替スイッチ 撤去 | 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| ハ.コンセント分岐設備 | | | | |
| ケーブル 撤去 | EM-EEF2.0mm-3C コロガシ 再使用しない | m | 78.3 | |
| ケーブル 撤去 | EM-EEF2.0mm-3C 管内 再使用しない | m | 2.1 | |
| メタルモール 撤去 | A形 本体 | m | 1.5 | |
| メタルモール 撤去 | B形 本体 | m | 4.3 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×2 再使用しない | 個 | 11.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1, ET 再使用しない | 個 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|------------------|---------------------------------|-----|------|-----|
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×2, EET 再使用しない | 個 | 4.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A, E×2 再使用しない | 個 | 23.0 | |
| コンセントレール 撤去 | 2P15A 再使用しない | m | 6.8 | |
| ハネスジョイントボックス 撤去 | 0A7ロア配線用 再使用しない | 個 | 8.0 | |
| ケーブルタップ コンセント 撤去 | 2P15A, ELK×4 0A7ロア配線用 再使用しない | 個 | 14.0 | |
| ニ. 動力幹線設備 | | | | |
| 動力制御盤 撤去 | P-1 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| ホ. 動力分岐設備 | | | | |
| 地震感知器 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ヘ. 構内情報通信網設備 | | | | |
| ケーブル 撤去 | EM-UTP0.5mm-4P コロガシ 再使用しない | m | 68.7 | |
| ト. 構内交換設備 | | | | |
| ケーブル 撤去 | TIVF0.65mm-2C コロガシ 再使用しない | m | 51.3 | |
| 電話受口 撤去 | ノズルプレート 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| 電話機 撤去 | ボタン電話機 再使用しない | 台 | 7.0 | |
| 電話交換機(1) 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 電話交換機(2) 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 保安器収納盤 | 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| チ. 誘導支援設備 | | | | |
| ドアホン親機 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ドアホン子機 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|----------------------|--------------------------------|-----|-----|-----|
| リ．構内配電線路 | | | | |
| 引込開閉器盤 撤去 | 鋼板製 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| 電力量計箱 撤去 | 樹脂製 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| プルボックス 撤去 | 鋼板製 300×300×200H 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| 4) 機械設備解体費 | | | | |
| イ．空調設備 | | | | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-2 室内機 天吊形 7.1KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-2 室外機 床置形 7.1KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-3 室内機 天吊形 10.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-3 室外機 床置形 10.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-4 室内機 天吊形 10.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-4 室外機 床置形 10.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-1 室内機 天吊形 5.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-1 室外機 床置形 5.0KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| FF式ファンヒーター 撤去 | 床置形 6.15KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| オイルタンク 撤去 | 40L 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 制気口 撤去 | VHS 400×150 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 制気口 撤去 | VHS 500×200 再使用しない | 個 | 6.0 | |
| 注油口 撤去 | 65A 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| オイル循環ポンプ 撤去 | 0.2KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| オイルサービスタンク 撤去 | 90L 架台共 再使用しない | 基 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|--------------------|--|-----|------|-----|
| 温風暖房機 撤去 | 0.4KW 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 送風機 撤去 | 5.5KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 補給水タンク 撤去 | 100L SUS製 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| オイル管 撤去 | SGP 32A 地中埋設 再使用しない | m | 2.8 | |
| オイル管 撤去 | SGP 65A 地中埋設 再使用しない | m | 8.3 | |
| 煙道 撤去 | SGP 250A 再使用しない | m | 5.3 | |
| 亜鉛鉄板 撤去 | 厚み0.5mm 再使用しない | m2 | 30.5 | |
| 亜鉛鉄板 撤去 | 厚み1.0mm 再使用しない | m2 | 18.5 | |
| 保温材 撤去 | GW 25t 再使用しない | m3 | 13.2 | |
| 土工事 | 根切り(機械) | m3 | 7.4 | |
| 土工事 | 埋め戻し(機械) | m3 | 7.4 | |
| 冷媒回収・破壊 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン (計4台) ACP-1 5.0KW、ACP-2 7.1KW | 式 | 1.0 | |
| | ACP-3 10.0KW、ACP-4 10.0KW | | | |
| 地下オイルタンク 撤去 | 1500L 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| ロ.換気設備 | | | | |
| 天井埋込換気扇 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 消音ボックス付きシロッコファン 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 壁付換気扇 撤去 | 羽根径200φ 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 壁付換気扇 撤去 | 羽根径250φ 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 壁付換気扇 撤去 | 羽根径300φ 再使用しない | 台 | 3.0 | |
| ウェザーカバー 撤去 | SUS製 200φ用 | 台 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-------------|---------------------------|-----|------|-----|
| ウェザーカバー 撤去 | SUS製 250φ用 | 台 | 1.0 | |
| ウェザーカバー 撤去 | SUS製 300φ用 | 台 | 3.0 | |
| ハ. 衛生器具設備 | | | | |
| 洋風便器 撤去 | ロータンク式 暖房洗浄便座委付 再使用しない | 組 | 2.0 | |
| 洋風便器 撤去 | FV式 暖房洗浄便座委付 再使用しない | 組 | 1.0 | |
| 和風便器 撤去 | FV式 再使用しない | 組 | 1.0 | |
| 小便器 撤去 | FV式 床置形 再使用しない | 組 | 3.0 | |
| 洗面器 撤去 | 13mm水栓付 再使用しない | 組 | 3.0 | |
| 化粧鏡 撤去 | 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 掃除用流し | 20mm水栓付 再使用しない | 組 | 1.0 | |
| ジェットタオル 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 紙巻器 撤去 | 再使用しない | 個 | 4.0 | |
| ニ. 屋外給水設備 | | | | |
| 給水管 撤去 | PP 20A 地中配管 再使用しない | m | 24.3 | |
| 給水管 撤去 | PP 40A 地中配管 再使用しない | m | 35.9 | |
| ゲート弁 撤去 | GV 20A 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| ゲート弁 撤去 | GV 40A 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 弁柵 撤去 | VC-2 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 量水器 取外し(返却) | 40A | 個 | 1.0 | |
| 量水器柵 撤去 | MC-2 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 水栓 撤去 | 13mm 再使用しない | 個 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------|---|-----|------|-----|
| 水栓柱 撤去 | SUS製 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 土工事 | 根切り(機械) | m3 | 38.5 | |
| 土工事 | 埋め戻し(機械) | m3 | 38.5 | |
| ホ. 屋内給水設備 | | | | |
| 単水栓 撤去 | 13mm 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| ヘ. 給湯設備 | | | | |
| ガス湯沸器 撤去 | 元止式 5号 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ト. 屋外排水設備 | | | | |
| 排水管 撤去 | VP 100A 地中埋設 再使用しない | m | 3.0 | |
| 排水管 撤去 | VP 125A 地中埋設 再使用しない | m | 9.7 | |
| 雑排水枺 撤去 | ため枺 RA-1 400φ×300H 鉄蓋400φ共 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 雑排水枺 撤去 | ため枺 RA-1 400φ×310H 鉄蓋400φ共 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 雑排水枺 撤去 | ため枺 RA-1 400φ×330H 鉄蓋400φ共 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 汚水枺 撤去 | インバート枺 SA-2 400φ×420H 鉄蓋400φ共 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 汚水枺 撤去 | インバート枺 SA-2 400φ×450H 鉄蓋400φ共 再使用しない | 基 | 1.0 | |
| 土工事 | 根切り(機械) | m3 | 9.3 | |
| 土工事 | 埋め戻し(機械) | m3 | 9.3 | |
| チ. 屋内排水設備 | | | | |
| 床上掃除口 撤去 | COA 50A 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| 床上掃除口 撤去 | COA 65A 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 床上掃除口 撤去 | COA 80A 再使用しない | 個 | 2.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-------|-----|
| 床上掃除口 撤去 | COA 100A 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| リ.ガス設備 | | | | |
| ガスソック 撤去 | 13A 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| (2) 増築棟解体撤去費 | | | | |
| 1) 直接仮設費 | | | | |
| イ. 外部足場 | | | | |
| 桝組本足場 (手すり先行方式) 900桝 | 2 箇月 12m未満 | 掛m ² | 64.3 | |
| 桝組本足場運搬 | 4 t 車 | m ² | 64.3 | |
| 安全手すり | 2 箇月 | 掛m | 7.3 | |
| 安全手すり運搬 | 4 t 車 | m | 7.3 | |
| 単管本足場 | H=10m未満2箇月 | 掛m ² | 169.0 | |
| 単管本足場運搬 | トラック 4 t 積 | m ² | 169.0 | |
| 安全手すり | 2 箇月 単管本足場用 | 掛m | 19.2 | |
| 安全手すり運搬 | 単管本足場用 4t積 | m | 19.2 | |
| 防音シート | 2 箇月 | 掛m ² | 233.0 | |
| 防音シート運搬 | 4 t 車 | m ² | 233.0 | |
| ロ. 内部足場 | | | | |
| 脚立足場 | 1箇月 H1.8m | 床m ² | 162.0 | |
| 脚立足場運搬 | 脚立足場運搬 | m ² | 162.0 | |
| 2) 増築棟解体費 | | | | |
| イ. コンクリート解体 | | | | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|---|-----------------|-------|-----|
| 基礎部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 | 建m ² | 82.3 | |
| | コンクリート量27.2m ³ (土間含む) | | | |
| ロ. 躯体 | | | | |
| 鉄骨取りこわし | S造 人力・機械併用 鉄骨カッター主体 50~75kg/m ² | 延m ² | 162.0 | |
| | 屋根・外壁共 | | | |
| ハ. 土工 | | | | |
| 埋戻し(購入土 埋戻し用山砂) | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 18.8 | |
| ニ. 仕上材撤去 | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | | 延m ² | 162.0 | |
| 3) 電気設備解体費 | | | | |
| イ. 電灯幹線設備 | | | | |
| 電灯分電盤 撤去 | L-2 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| ロ. 電分岐設備 | | | | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL20W-1 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL20W-2 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL40W-1 再使用しない | 台 | 6.0 | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL40W-2 再使用しない | 台 | 7.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×1 再使用しない | 個 | 5.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×2 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×3 再使用しない | 個 | 1.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|--------------|--------------------------------|-----|-----|-----|
| 埋込スイッチ 撤去 | 3W15A×1 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 3W15A×2 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| ハ. コンセント分岐設備 | | | | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1 再使用しない | 個 | 5.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×2 再使用しない | 個 | 4.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1, ET 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A, E×2 再使用しない | 個 | 9.0 | |
| ニ. 動力幹線設備 | | | | |
| 2階空調機盤 撤去 | 鋼板製 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| ホ. 構内交換設備 | | | | |
| 電話受口 撤去 | ノズルプレート 再使用しない | 個 | 3.0 | |
| ヘ. テレビ共同受信設備 | | | | |
| テレビアンテナ 撤去 | UHF 20EL 再使用しない | 本 | 1.0 | |
| アンテナmast 撤去 | SGPW32A×1.5m 屋根馬・支線共 再使用しない | 本 | 1.0 | |
| ブースター 撤去 | 33dB 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 3分配器 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ト. 構内配電線路 | | | | |
| 開閉器盤1 撤去 | 鋼板製 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| 開閉器盤2 撤去 | 鋼板製 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| プルボックス 撤去 | 鋼板製 300×300×200H 再使用しない | 個 | 2.0 | |
| 4) 機械設備解体費 | | | | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|----------------------|--|-----|------|-----|
| イ. 空調設備 | | | | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-5 室内機 天吊形 7.1KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-5 室外機 床置形 7.1KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-6 室内機 天吊形 5.6KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-6 室外機 床置形 5.6KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-7 室内機 天吊形 3.6KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 撤去 | ACP-7 室外機 床置形 3.6KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| FF式ファンヒーター 撤去 | 床置形 3.02KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| FF式ファンヒーター 撤去 | 床置形 3.84KW 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| オイルタンク 撤去 | 20L 再使用しない | 台 | 2.0 | |
| 冷媒回収・破壊 | 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（計3台） ACP-5 7.1KW、ACP-6 5.6KW ACP-7 3.6KW | 式 | 1.0 | |
| ロ. 換気設備 | | | | |
| 天井埋込換気扇 撤去 | 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 有圧換気扇 | 羽根径300φ 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ウェザーカバー 撤去 | SUS製 300φ用 | 台 | 1.0 | |
| （3）車庫解体撤去費 | | | | |
| 1）直接仮設費 | | | | |
| イ. 外部足場 | | | | |
| 桝組本足場（手すり先行方式）900桝 | H=12m未満1箇所 | 掛㎡ | 51.2 | |
| 桝組本足場運搬 | トラック4t積 | ㎡ | 51.2 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|---|-----------------|------|-----|
| 安全手すり | 1箇月 桝組本足場用 | 掛m | 14.6 | |
| 安全手すり運搬 | 桝組本足場用 4t積 | m | 14.6 | |
| 単管本足場 | H=10m未満1箇月 | 掛m ² | 44.2 | |
| 単管本足場運搬 | トラック 4 t 積 | m ² | 44.2 | |
| 安全手すり | 1箇月 単管本足場用 | 掛m | 12.6 | |
| 安全手すり運搬 | 単管本足場用 4t積 | m | 12.6 | |
| 災害防止（防音シート） | 防音シート 1箇月 | 掛m ² | 95.5 | |
| 防音シート運搬 | トラック 4 t 積 | m ² | 95.5 | |
| 2）解体費 | | | | |
| イ. コンクリート解体 | | | | |
| 基礎部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 | 建m ² | 60.0 | |
| | コンクリート量11.7m ³ （土間含む） | | | |
| ロ. 躯体 | | | | |
| 鉄骨取りこわし | S造 人力・機械併用 鉄骨カッター主体 30～50kg/m ² | 延m ² | 60.0 | |
| | 屋根・外壁共 | | | |
| ハ. 土工 | | | | |
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 15.7 | |
| ニ. 仕上材撤去 | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | | | | |
| CBとりこわし | コンクリートブレーカ | m ³ | 0.8 | |
| 3）電気設備解体費 | | | | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|----------------------|--------------------|-----|------|-----|
| イ. 電灯分岐設備 | | | | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL20W-1 再使用しない | 台 | 2.0 | |
| 白熱灯器具 撤去 | ブラケットライト 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×2 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| ロ. コンセント分岐設備 | | | | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×2 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| (4) 調整室解体撤去費 | | | | |
| 1) 直接仮設費 | | | | |
| イ. 外部足場 | | | | |
| 桝組本足場 (手すり先行方式) 900桝 | H=12m未満1箇所 | 掛㎡ | 36.0 | |
| 桝組本足場運搬 | トラック 4 t 積 | ㎡ | 36.0 | |
| 安全手すり | 1箇所 桝組本足場用 | 掛m | 11.0 | |
| 安全手すり運搬 | 桝組本足場用 4t積 | m | 11.0 | |
| 単管本足場 | H=10m未満1箇所 | 掛㎡ | 23.6 | |
| 単管本足場運搬 | トラック 4 t 積 | ㎡ | 23.6 | |
| 安全手すり | 1箇所 単管本足場用 | 掛m | 7.2 | |
| 安全手すり運搬 | 単管本足場用 4t積 | m | 7.2 | |
| 災害防止 (防音シート) | 防音シート 1箇所 | 掛㎡ | 59.6 | |
| 防音シート運搬 | トラック 4 t 積 | ㎡ | 59.6 | |
| 2) 解体費 | | | | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|---|-----------------|------|-----|
| イ. コンクリート解体 | | | | |
| 基礎部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 | 建m ² | 27.8 | |
| | コンクリート量7.8m ³ (土間含む) | | | |
| ロ. 躯体 | | | | |
| 鉄骨取りこわし | S造 人力・機械併用 鉄骨カッター主体 30～50kg/m ² | 延m ² | 27.8 | |
| | 屋根・外壁共 | | | |
| ハ. 土工 | | | | |
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 8.6 | |
| ニ. 仕上材撤去 | | | | |
| 仕上げ等とりこわし | | | | |
| CBとりこわし | コンクリートブレーカ | m ³ | 1.5 | |
| 3) 電気設備解体費 | | | | |
| イ. 電灯幹線設備 | | | | |
| 電灯分電盤 撤去 | 調整室 再使用しない | 面 | 1.0 | |
| ロ. 電灯分岐設備 | | | | |
| 蛍光灯器具 撤去 | 露出形 FL40W-2 再使用しない | 台 | 3.0 | |
| 埋込スイッチ 撤去 | 1P15A×2 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| レースウェイ 撤去 | 30×40 再使用しない | m | 6.3 | |
| ハ. コンセント分岐設備 | | | | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×1 再使用しない | 個 | 1.0 | |
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A, E×2 再使用しない | 個 | 2.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|---|-----------------|-----|-----|
| 埋込コンセント 撤去 | 2P15A×2, EET 再使用しない | 個 | 4.0 | |
| ニ. 構内交換設備 | | | | |
| 電話機 撤去 | ボタン電話機 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| 4) 機械設備解体費 | | | | |
| イ. 換気設備 | | | | |
| 有圧換気扇 | 羽根径400φ 再使用しない | 台 | 1.0 | |
| ウェザークカバー 撤去 | SUS製 400φ用 | 台 | 1.0 | |
| (5) 自転車置場解体撤去費 | | | | |
| 1) 解体費 | | | | |
| イ. コンクリート解体 | | | | |
| 基礎部躯体とりこわし | 圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 | 建m ² | 4.8 | |
| | コンクリート量1.7m ³ (土間含む) | | | |
| ロ. 躯体 | | | | |
| 鉄骨取りこわし | S造 人力・機械併用 鉄骨カッター主体 30～50kg/m ² 屋根・外壁共 | 延m ² | 4.8 | |
| ハ. 土工 | | | | |
| 埋戻し(購入土 埋戻し用山砂) | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 1.7 | |
| (6) 外構解体撤去費 | | | | |
| 1) 解体費 | | | | |
| イ. 舗装撤去 | | | | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|-----------------|--|----------------|-------|-----|
| コンクリート舗装撤去 | 厚=15cm バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 | m ² | 439.0 | |
| | 路盤：厚15cm共 集積・積込共 | | | |
| タイル舗装撤去 | 200角タイル t=6 モルタル下地 コンクリート舗装厚15cm, | m ² | 5.8 | |
| | 路盤厚15cm共 集積・積込共 | | | |
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 89.1 | |
| ロ. 雨水排水撤去 | | | | |
| 雨水排水管撤去 | VP 200φ 集積, 積込共 | m | 25.5 | |
| 雨水枡撤去 | 500角 有効深さ300 鋼製蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| 雨水枡撤去 | 300角 有効深さ500 コンクリート蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 2.0 | |
| 雨水枡撤去 | 300角 有効深さ570 コンクリート蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| 雨水枡撤去 | 900角 有効深さ830 コンクリート蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| 雨水枡撤去 | 900角 有効深さ1050 コンクリート蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| 雨水枡撤去 | 400角 有効深さ500 コンクリート蓋共 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 5.6 | |
| ハ. 雑工作物 | | | | |
| 車止め撤去 | W600×D150×H100 集積, 積込共 | 箇所 | 10.0 | |
| 看板撤去 | スチール製 看板：W500×D150×H1450 | 箇所 | 1.0 | |
| | 支柱：100角 H=3450 RC基礎共 集積, 積込共 | | | |
| 煙突基礎撤去 | RC基礎 W1000×D1000×H700 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| オイルタンク基礎撤去 | RC基礎 W1600×D3800×H2210 集積, 積込共 | 箇所 | 1.0 | |
| オイルタンク撤去用山留 | シートパイル III型 矢板長4.5m 範囲:16.8m 期間:1ヶ月 | m ² | 75.6 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|--------------------|---|----------------|-------|-----|
| 埋戻し（購入土 埋戻し用山砂） | バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次 | m ³ | 6.5 | |
| （7）整地費 | | | | |
| イ. 整地 | | | | |
| 撤去跡敷地再生砕石敷き | t10cm ブルドーザ3t | m ² | 836.0 | |
| 立入防護柵新設 | 支柱・控え柱： 松丸太 末口 φ90mm×L=2000mm 支柱@2.0m、控え柱@10.0m 亜鉛メッキ鉄線張り #8 φ4mm 3段 | m | 72.3 | |
| 開口部鉄鎖 | | 箇所 | 1.0 | |
| 有価材置場囲い | H=1.8m | 式 | 1.0 | |
| （8）廃棄物処理費 | | | | |
| 1）発生材積込運搬費 | | | | |
| イ. 発生材積込 | | | | |
| 積込（コンクリート殻、くず） | 無筋 バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 | m ³ | 2.3 | |
| 積込（ガラスくず） | バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 | m ³ | 0.01 | |
| 積込（アスベスト含有材） | 非飛散性成形板 レベル3（二重梱包） | m ³ | 3.5 | |
| 積込（アスベスト含有材） | 配管エルボ部分 レベル2（二重梱包） | m ³ | 1.0 | |
| ロ. 発生材運搬 | | | | |
| 運搬（コンクリート殻、くず） | DT4t 運搬距離L=12.0km以下 DID有 無筋 | m ³ | 378.0 | |
| 運搬（路盤・地業類） | DT4t 運搬距離L=5.5km以下 DID有 | m ³ | 178.0 | |
| 運搬（陶磁器くず、タイル） | DT4t 運搬距離L=12.0km以下 DID有 | m ³ | 3.1 | |
| 運搬（ガラスくず・金属くず・蛍光灯） | DT4t 運搬距離L=12.0km以下 DID有 | m ³ | 1.6 | |
| 運搬（木くず） | DT4t 運搬距離L=12.0km以下 DID有 | m ³ | 1.9 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|------------------|-----------------------------|----------------|--------|-----|
| 運搬（畳・繊維くず） | DT4t 運搬距離L= 9.0km以下 DID有 | m ³ | 0.9 | |
| 運搬（廃プラスチック） | DT4t 運搬距離L=17.0km以下 DID有 | m ³ | 28.1 | |
| 運搬（石膏ボード類） | DT4t 運搬距離L=12.0km以下 DID有 | m ³ | 18.5 | |
| 運搬（アスベスト含有材） | DT4t 運搬距離L=60.0km以上 DID有 | m ³ | 3.5 | |
| 運搬（アスベスト含有材）レベル2 | DT4t 運搬距離L=60.0km以上 DID有 | m ³ | 1.0 | |
| 2）発生材処理費 | | | | |
| イ. 建築解体工事発生材処理費 | | | | |
| 処理費（コンクリート殻、くず） | 無筋 | m ³ | 377.0 | |
| 処理費（路盤・地業類） | | m ³ | 178.0 | |
| 処理費（陶磁器くず、タイル） | | m ³ | 2.8 | |
| 処理費（ガラスくず） | | m ³ | 1.0 | |
| 処理費（木くず） | | m ³ | 1.9 | |
| 処理費（畳・繊維くず） | | m ³ | 0.8 | |
| 処理費（廃プラスチック） | | m ³ | 27.8 | |
| 処理費（石膏ボード類） | | m ³ | 18.5 | |
| 処理費（アスベスト含有材） | 非飛散性成形板レベル3 | m ³ | 3.5 | |
| 処理費（アスベスト含有材） | 配管エルボ部分レベル2 | m ³ | 1.0 | |
| スクラップ | 鉄くず H3 | t | 51.4 | |
| スクラップ | 鉄くず H4 | t | 0.8 | |
| スクラップ | ステンレスくず | kg | 32.5 | |
| スクラップ | アルミくず | kg | 1834.0 | |

| 工種・種別・細別 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 備 考 |
|------------------|------------------------|----------------|-------|-----|
| ロ．電気設備解体発生材処理費 | | | | |
| 処理費（金属くず） | | m ³ | 0.2 | |
| 処理費（廃プラスチック） | | m ³ | 0.1 | |
| 処理費（蛍光灯） | | m ³ | 0.1 | |
| スクラップ | 鉄くず H2 | t | 0.2 | |
| スクラップ | 2号銅線 | t | 0.1 | |
| ハ．機械設備解体発生材処理費 | | | | |
| 処理費（陶磁器くず） | | m ³ | 0.3 | |
| 処理費（金属くず） | | m ³ | 0.3 | |
| 処理費（廃プラスチック） | | m ³ | 0.2 | |
| 処理費（繊維くず） | | m ³ | 0.1 | |
| 処理費（コンクリート殻、くず） | 無筋 | m ³ | 0.9 | |
| スクラップ | 鉄くず H2 | t | 1.7 | |
| スクラップ | ステンレスくず | t | 0.1 | |
| （共通仮設費積み上げ分） | | | | |
| 仮囲い（H=3.0m）設置・撤去 | 成形鋼板 4箇所 | m | 81.9 | |
| 仮囲い（H=3.0m）設置・撤去 | 成形鋼板 2箇所 | m | 31.9 | |
| 仮囲い取外し再取付 | H=3.0m | m | 12.6 | |
| 仮囲い（H=3.0m）運搬 | 成形鋼板 | m | 113.8 | |
| シートゲート 設置・撤去 | W5.4m×H4.5m 設置4箇所 運搬費共 | 箇所 | 1.0 | |
| 交通誘導員 | | 人 | 110.0 | |

